

【参考】

1 青梅畜産センター新施設の特徴

○ 高度な衛生管理を実現し、家畜伝染病の発生を防止

- ・野生動物等の侵入防止を考慮したフェンスの設置とウインドレス畜舎（完全屋内飼養）
- ・職員等のシャワーイン、専用衣服の導入による病原体持ち込みの防止
- ・職員や物品の動線を分離して、交差汚染を防ぎ衛生レベルを確保



ウインドレス鶏舎

○ 最新のシステムを導入し、アニマルウェルフェアへの配慮と作業効率を向上

- ・クーリングパッド（気化熱を利用した冷却装置）や床暖房などを利用した温度調節機能付きの畜舎
- ・豚舎は、妊娠豚の適切な管理が可能となる母豚群管理システムの導入（国内8例目）
- ・空気圧により飼料を搬送する自動給餌装置を導入し、給餌作業とメンテナンスを効率化（国内3例目、公的機関初）
- ・鶏舎は、鶏が自由に動けるサイズのケージを導入



クーリングパッド

○ 周辺環境に配慮し、悪臭等の発生を防止

- ・ウインドレス畜舎で飼養環境の改善と悪臭発生等の防止
- ・除糞、洗卵、検卵や選別は全て自動化。糞は自動で集積所へ排出
- ・高圧洗浄用配管を埋設し、洗浄機本体を動かさなくても掃除が可能

2 新施設使用開始スケジュール

